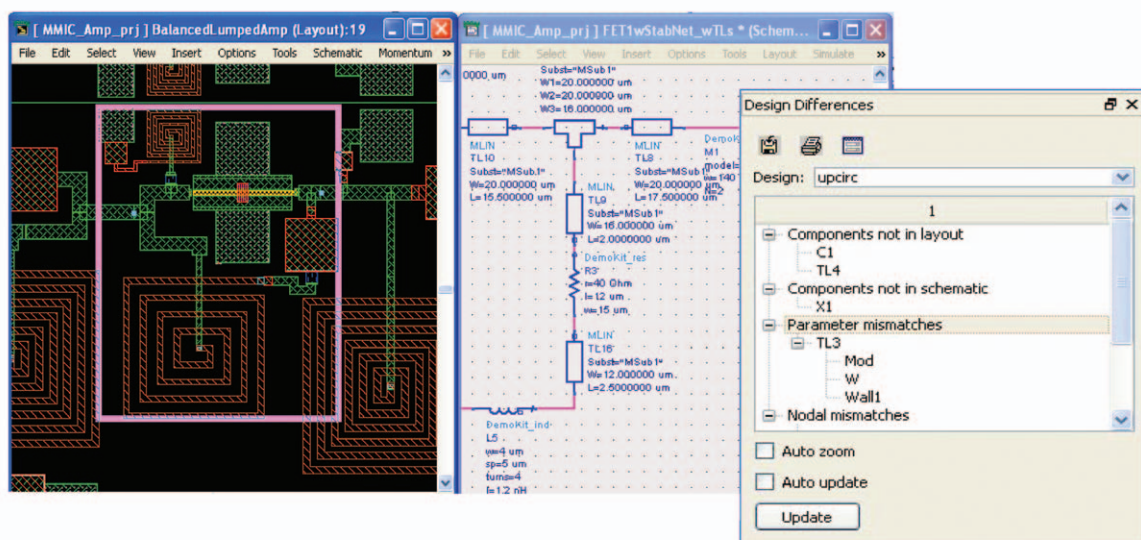


# Agilent EEs of EDA W2321 レイアウト・エレメント



レイアウトとスキマティックの差分レポートを使用して、レイアウトとスキマティックを自動的にまたはユーザがフル制御して同期させることができます。

W2331 レイアウト・エレメントは、Advanced Design System (ADS)用のオールインワンの高周波レイアウト・デザイン環境です。ADSは、高周波ミックスド・シグナル・エレクトロニック・デザイン・オートメーション (EDA)のテクノロジー/イノベーション・リーダーである、Agilent EEs of EDAの主力製品です。ADSは、高周波/高速アプリケーションにおけるIC、パッケージ、ボードの協調設計が可能な、唯一のデザイン・シミュレーション・プラットフォームです。ADSは、システム、回路、フル3次元電磁界シミュレーション機能をAgilentのテスト機器にシームレスに統合することにより、再現性の高いファースト・パス・エレクトロニック・デザインを実現します。

ADSレイアウト・エレメントは、MMIC、RFモジュール、RFプリント基板、プリント・アンテナの高周波レイアウトのデザイン用に開発されました。これらのデザインでは、RF/マイクロ波周波数で最適な性能を得るために、レイアウト形状、寸法、近接効果を正確に計算して、設計する必要があります。ADSレイアウト・エレメントは、ADSスキマティック環境にシームレスに統合されます。ADSスキマティック環境では、レイアウトの寸法を編集するとスキマティックが更新され、逆にスキマティックを編集するとレイアウトが更新されます。このプロセスはデザイン同期と呼ばれ、レイアウトの変更を、ADSの回路シミュレータ、3次元プレナー電磁界シミュレータ、フル3次元電磁界シミュレータ、システム・シミュレータで瞬時にシミュレートできます。デザインを簡単に開始でき、常にスキマティックから始めるのではなく、エッジ・ピン接続の配置を正確に定義できるので、ADSレイアウトの機能はMMICのデザイナーに特に有用です。

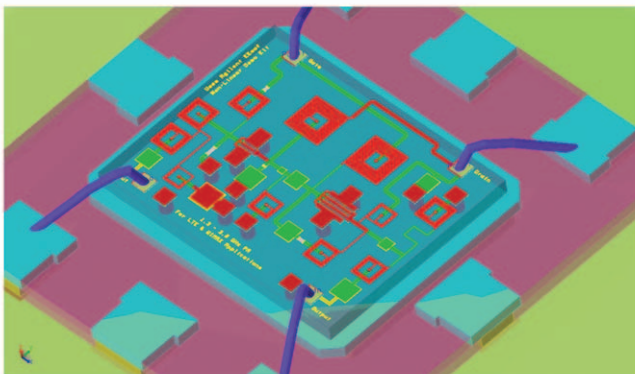


**Agilent Technologies**

## ADS レイアウト・エレメントの特長：

- 伝送ライン、不連続部、遷移部、スパイラル、カップラ、スプリッタ、ミアンダ・ワイヤ・ボンド、ビアなどの、マイクロ波/RFストラクチャの自動レイアウト・シンセシスと挿入。
- MMIC、RFモジュール、RFプリント基板の高周波レイアウトを作成するための、標準/アドバンスト・レイアウト編集機能が豊富に揃った完全なセット。
- フル・ユーザ制御の自動モード/手動モードを使って、レイアウト環境とスキーマティック環境を同期させることにより、どちらか一方の環境での変更を他方に反映。
- ユーザ定義レイアウト・マクロと環境のカスタマイズ、手動プログラミングを減らすためのグラフィカル・セル・コンパイラ・テクノロジー。
- GDSII、Gerber、DXF、ODB++などの業界標準のファイル・フォーマットのサポート。
- 切断面の垂直方向への伸縮/スライドによる3次元ビジュアライゼーションにより、多層構造内のインターコネクットの配置を検証。
- 回路/システム・コンポーネントとのエラーのない接続を実現するための、スキーマティック内のレイアウト・ルックアライク・コンポーネントの作成。
- RF/ミックスド・シグナルPCボードをデザインするために、Cadence Allegroや Mentor Expedition、図研CR5000と統合可能。
- Desktop DRC機能により、ファンドリ・テブアウト前に正しいMMICレイアウトを確認。
- Momentum G2 Advanced Model Composerとの統合により、正確なシミュレーション・モデルを使って、任意のスケラブルなパッシブ3次元プレーナ・ストラクチャのレイアウトを作成可能。
- Momentum G2およびEMDS G2エレメントとの統合により、電磁界の最適化と表面電流/電磁界の表示が可能。

手動で微調整したレイアウトが誤って解釈されることがある他の高周波レイアウト・デザイン・ツールとは異なり、ADS データベース・アーキテクチャは自動スキーマティック同期により、レイアウトとスキーマティック間でフル・ユーザ制御の自動/手動同期を提供することで、意図しないレイアウト変更を防止できます。W2321 レイアウト・エレメントは、ADS のフル 3 次元/プレーナ電磁界シミュレータとのシームレスな統合により、電磁界シミュレーション用の 3 次元プレーナ・ドローイング環境、表面電流/電磁界のビュー環境を提供します。



レイアウトの3次元表示により、コンポーネント/ボンド・ワイヤの正しい配置を検証できます。

## アジレント・テクノロジー株式会社

本社〒192-8510 東京都八王子市高倉町 9-1

### 計測お客様窓口

受付時間 9:00-18:00 (土・日・祭日を除く)

TEL ■■■ 0120-421-345  
(042-656-7832)

FAX ■■■ 0120-421-678  
(042-656-7840)

Email [contact\\_japan@agilent.com](mailto:contact_japan@agilent.com)

電子計測ホームページ

[www.agilent.co.jp](http://www.agilent.co.jp)

- 記載事項は変更になる場合があります。  
ご発注の際はご確認ください。

© Agilent Technologies, Inc. 2013

Published in Japan, April 26, 2013  
5990-3692JAJP  
0000-00DEP



**Agilent Technologies**